

10. 頑張れ後輩諸君！ <平成30年度 卒業生からのメッセージ>

このコーナーは、受験を終えた先輩たちが、君たちのために残してくれた多くの『受験体験記』の中から、ぜひ読んでもらいたいものを抜粋したものです。先輩たちは、受験までの生活・学習などを、成功例はもちろんのこと、失敗例までありのままに書いてくれました。君たちは、ぜひこのメッセージを受け止め、次の自分たちの受験に活かしてください。

(なお、「進路指導室」には、このほかにたくさんの『受験体験記』が保管されています。受験勉強に行き詰ったりした時の助けになるはずですので、ぜひ読みにきてください。)

※ 可能な限り原文を尊重した文章になっていますが、誤字・脱字や内容の繰り返しは改めてあります。ご了承ください。

【合格大学・学部・学科名】

東京大学
早稲田大学
慶應義塾大学
東京理科大学
明治大学

第一に、様々な勉強法を試行錯誤しながら自分の勉強法を見つけるということです。世の中には本当にたくさんの勉強法があふれています。先生から聞いた情報、本で読んだ情報、インターネットで調べた情報、様々な情報があります。いったいどれが正しいのでしょうか。答えは「人による」のだと思います。大切なことは、様々な勉強法をいったん素直に試してみたら、自分に合うと思えば続けて、自分に合わないと思えばきっぱりやめてしまうということです。ただし、一つだけ勉強法の道標があります。それは、定番が強いということです。ネットには様々な刺激的な勉強法がありますが、それで効果が出るのはごく一部の人はです。大部分の人にとって効果的なのは、自分が行きたい大学の合格者の多くが行っているような定番の勉強法です。

第二に、絶対合格と思わないことです。私は、特に入試の直前期には「本当に受かるのだろうか。落ちたらどうしよう」といつも不安に思っていました。しかし、ある言葉に出会ってから不安に思うことがなくなりました。それは「人事を尽くして天命を待つ」という言葉です。受験には必ず運の要素が入ってきます。数学の問題が自分の得意なタイプか、現代文は肌に合うかなど、様々な要素が含まれます。運をコントロールすることは人には決してできません。人にできるのは自分のベストを尽くすことだけです。与えられたテストにおいてとにかく全力を尽くすのです。そして、あとは天にまかせるのです。「今から受けるテストにおいて点数を最大化できるよう全力を尽くそう。あとは天命を待つのみだ」と、私は試験が始まる前にはいつもこう考えていました。だから私は、試験会場で緊張したことは一度もありません。不安になったこともありません。自分の全力を尽くすことだけしか考えていないのですから。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『青チャート』『一対一対応』(定石を得られる)

『システム英単語』(英単語帳はこれで十分)

『ポレポレ』(英文解釈力をつけるのに良い)

【合格大学・学部・学科名】

九州大学
明治大学
東京電機大学

第一に、最後まで粘り強くやり抜くということが大切です。これは、案外簡単に思うかもしれませんが、周りが推薦で合格する人、諦めて進路を変える人がいる中で、コンスタントに勉強することは難しいと思います。自分も実際何度か心が折れそうになったことがあります。しかし、決して目標は下げないでください。自分も目標とする大学には届きませんでした。結果としては、満足できる大学に入れました。最後まで諦めなければ、最後には自分でも満足できる未来があると思います。

第二に、先生との信頼関係が重要です。僕は合格発表を先生と見て喜びを共有しました。また、添削では、本当に先生にお世話になりました。二次試験の問題は、答えよりも過程が重要なので、ここで先生と何度も話し合いを重ねられたのが、九州大学合格を導けたのだと思います。

自分の経験を参考にして頂けたら幸いです。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『物理のエッセンス』（解説がわかりやすい）

『重要問題集（化学／物理）』（知識を深められる）

『青チャート』（問題が良問）

【合格大学・学部・学科名】

新潟大学 人文学部

1年生の頃、なんとなく始めた勉強は、この3年間で大好きになりました。中学生の私は、部活に明け暮れた日々を過ごしていたので、勉強はほとんどしていなかったし、苦手でした。EEのクラスに合格して入学しましたが、部活動には入らなかったため暇つぶし程度で勉強をスタートしました。高校の勉強はやはり難しかったけれど、先生方が一対一で理解できるまでとことん教えてくれたので、勉強すればするほど成績は上がっていきました。先生が褒めてくれたり、熱心に教えてくれたりしたことが嬉しくて「次はもっと良い点数を取ろう」というモチベーションにもつながり、3年間継続することができました。3年間勉強をやり切ることができれば、国立大学だって合格できるはずですよ。

私の勉強スタイルは、朝7:00に登校して8:30まで勉強（朝は日本史と決めていました。1年生の頃は英語）。放課後は、21:00まで学校で勉強。予習・復習を中心に1、2年の頃はやっていました。日曜日・祝日は図書館で開館から閉館まで。

各教科を具体的に言うと、国語はとことん問題を解いて、字数の多い問題は先生の所に行って見てもらいました。数学は4STEPをずっと解いていました。1、2年の頃は毎日4STEPをやって、数学の先生のもとにも毎日通っていました。英語は、移動時間中にリスニングや単語を覚えたりして、2年生と3年生の時には、一日一長文をやっていました。解き終わって採点した後も、何度も何度も音読しました。歴史は二つ選択のうちどちらかを得意にすると強いです。教科書・図録・用語集だけで十分です。自分で問題集を買う必要はないです。教科書を読みこんで、流れが掴めないときは、質問に行くとスッキリします。理科は、文系はセンター試験だけなので、定期テストを大切にしつつ、2年生のうちからセンター試験の過去問に取り組んでいました。作新に来たからには、先生にたくさん質問をしに行くべきです。

センター試験後から二次試験までの一ヶ月間は地獄だし、一番長く感じます。最後は先生方と今まで支えてくれた両親に恩返しをしたいという気持ちで一ヶ月間乗り切りました。3年間自分を追い込んで我慢した分、受験後に達成感を感じることが出来ます。受験って苦しいけど、絶対最後まで諦めずやり通した方が良いです。志望校は早めに決めてください。私は3年の2学期に最終決定をしましたが、間に合わなくて、その大学には届きませんでした。

応援してる。Fight

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『記述の添削』（先生の添削が一番）

『システム英単語』（データベース4500だと全然足りない）

『歴史の用語集』（詳しい）

『上級現代文』

【合格大学・学部・学科名】

埼玉大学 教育学部 小学校理系コース
東海大学 理学部 物理学科
東邦大学 理学部 物理学科
玉川大学 農学部 理科教員養成コース
玉川大学 工学部 数学教員養成コース
北里大学 理学部 物理学科

私は、高校1年の時から人一倍勉強をしてきたと思います。しかし、思うように成績は伸びませんでした。高校3年の夏頃から、普段の勉強で一問一問解くときに、常にテスト本番の気持ちで解くよう意識することで、以前よりも成績が伸びるようになりました。このように、努力とともに常に緊張感を持つことが重要だと感じました。

私は、高校受験を失敗し、大学受験ではこの失敗を二度と繰り返したくないと思い、勉強してきました。この気持ちを持ち続けてきたことが合格にたどり着いたのだと思います。

私が伝えたいことは二つあります。まず、無理はし過ぎないということです。1日15時間の勉強を1年間続けることは、できる人もいるかもしれませんが、私には無理でした。やるときは集中して勉強し、疲れた時や体調が悪い時には休むことも大切だと思います。

私は、第一志望の国立大学に推薦で受け、一般入試前期二週間前に結果が出て不合格でした。しかし、前期でもう一度同じ大学を受けて合格することが出来ました。そこで、二つ目に言いたいことは、最後まで諦めないということです。頑張ってください。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『青チャート』（一通りの解法が身につく）
『化学教科書』（読み込めば大体のことが書いてある）
『物理のエッセンス』（解き方を身に付けられる）

【合格大学・学部・学科名】

宇都宮大学 農学部 農業環境工学科

私の高校生活は、振り返ってみれば失敗の連続だったように思われます。これから私の失敗談を元に、いくつかおせっかいなアドバイスをしましょう。

まずは一つ。当然、学生の本分は勉強ではありますが、1、2年生のうち仲間との絆を深めることも勉強と同じくらい大切です。ここで書くことではないかもしれませんが、要は友達とたくさん遊べということです。もちろん、勉強時間は確保しなければいけません。しかし、ここで得た友人は、自分が挫折した時、きっと力になってくれるはずですよ。

二つ目。勉強時間と休憩時間のメリハリをつけること。先程、仲間との絆を深めると述べましたが、勉強するときには一人であることをおすすめします。仲間と一緒に話してしまえば、集中できません。「何分勉強したら休憩」みたいなルールを自分の中で決めて、その間は集中しましょう。

三つ目。自分のやりたい事を常に探すこと。トップ英進/英進部に入る人は皆、大学進学を志していることでしょう。しかし、明確な将来の目標を持っている人もいれば、そうでない人もいます。そうでない人は、1、2年のうちに、自分の興味のある分野についてよく調べておくといえましょう。やりたいことがない人も、どうか人生を悲観しないでください。進めばその先に結果が待っています。

最後にもう一つ。勉強は大切ですが、それ以上に大切なものをどうか見失わないでください。友達から辛い、消えたいとか言われたら、会いに行きあげてください。勉強ができる自分は偉い、とか思い込んで、周囲の人を見下すことは絶対にしないでください。そして、心が折れた時は、支えてくれる人の存在を思い出してください。少しぐらい立ち止まっても責められません。また歩き出せるなら、それで良いのです。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『デュアルスコープ総合英語』（繰り返し取り組む）

【合格大学・学部・学科名】

信州大学
日本大学
東京農業大学 他

私は1度志望校を変更はしましたが、最終的には第1志望に合格することができました。

私が受験勉強に本腰を入れ始めたのは、3年生になってからでした。2年生の間は本当に勉強をさぼっていました。もしも2年生でさぼってしまったなあと後悔している人がいたら、ぜひ3年生からでも頑張ってみてください。諦めずに取り組めばきっと良い結果が待っていると思います。

受験勉強をするにあたって大切なのは、自分が勉強に集中できる環境に身を置くということ、そして時間を決めることだと思います。私の場合は学校の教室が1番集中できるので、教室で、そして先生方が学校を開放してくださる9時までには勉強しようと決めました。2年生の間さぼってしまった感覚が残っており、初めの方は9時までが本当に長く感じましたし、集中できていない時もありましたが、とりあえずでも教室にいようと決めて学校に残るようにしました。すると、だんだん慣れてきて、勉強に集中できるようになりました。まずは勉強時間を確保することが大切です。

勉強のやり方においては、担任の先生のお話が参考になりました。ちなみに、私の担任の先生は脇先生です。どの時期にどんな勉強をしたら良いのか、よく聞いて実行しました。信頼している先生のアドバイスを信じて、取り組んでみてください。

苦しい時もありますが、一生懸命になれば、より大きな喜びが待っていると思います。頑張ってください。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『ニューグローバル (生物)』

『セミナー (生物)』

(センター過去問や赤本以外は自分で買わず、学校で配られた教材をひたすらやりました。)

【合格大学・学部・学科名】

弘前大学 農学生命科学部
日本大学 生物資源科学部
東海大学

私が後輩に伝えたいことは2つあります。

1つ目は、勉強を習慣化することです。他の人に追いつくためには、十分な勉強時間と効率や質が大切だと思います。私は中学の頃から効率が悪い方だったので、改善する努力もしていましたが、それでは補いきれない部分は勉強量でカバーしていました。もし、私と同じ悩みを持っている人がいれば、周りの友達や先生から色々盗んだり、素直に聞いてみたりすると良いかもしれません。何か自分にとってプラスになる事を得られるはずです。そして、絶対的な勉強量はセンター直前や私大、国公立入試において、自分の不安を減らしてくれるものだと思います。どんなに勉強ができる人でも、少しくらい緊張すると思います。でも、その緊張は、自分がしっかり受験に向き合ってきたからこそ生まれるもので、適当にやってきた人は感じないんじゃないかなと思います。だから、もし不安になったら、3年間努力してきた事を思い出してみると良いと思います。そのためには1年生の頃からコツコツやり続けることが大切だと思います。

2つ目は、クラスの人・先生方・授業を大切にすることです。作新には、個性豊かで心優しい友人、頼りになる先生方がたくさんいます。依存しすぎて相手の自由や時間を奪うのは良くありませんが、日常的にコミュニケーションをとることで、受験で辛くなった時にお互いに励ましあうことができるとと思います。受験を通して、「受験は団体戦」という意味が分かっていくと思います。また、先生方も相談に乗ってくださると思うので、何か辛いことがあったり、心が折れてしまいそうになったりした時は、強がらずに話してみると良いと思います。

最後に、決して諦めずに最後まで頑張ってください。応援しています。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『セミナー (生物)』(問題が網羅されている)

『図説 (生物)』(教科書より詳しい)

『4STEP』(とにかくやり込む)

【合格大学・学部・学科名】

横浜市立大学 国際教養学部 国際教養学科
東洋大学 国際学部 国際地域学科
専修大学 文学部 英語英米文学科
専修大学 文学部 ジャーナリズム学科

私は最初から国公立狙いで私大一般は受けていないので、センター・2次対策について書こうと思います。また、新傾向テスト（新しい1次）を試しに受けたことがあるので、それも踏まえて書こうと思います。

まず、受験勉強を始めるにあたり、第一志望大学、少なくともやりたいことは早めに決めておいた方が良いでしょう。そうすれば、センターの傾斜配点・2次の傾向を踏まえ、何をすべきか効率的に決められるようになります。私の場合、3年の初めから横浜市立大学を第1志望としていたので、英語に力を入れようとすぐに決めることができました。そのため、3年の中盤までは英語に時間をかけ、絶対的な得意教科としました。そして後半、特にセンター直前は、ほぼ苦手教科の数学しかやりませんでした。数学は絶対諦めないでください。少なくともセンターで5割は取らないと、国公立の選択肢は一気に少なくなります。さらに、3教科に最初から絞ってしまったら、本当に望みは薄くなります。私大も厳しくなっているとひしひしと感じていたため、国公立は念頭に置いた方が良いでしょう。

英語は、自分専用の単語帳を決めて、それをずっと使い続けるのが良いと思います。他の教科にも同じことが言えますが、何がどこにあるのかすぐに分かるようになるし、ボロボロになっていくのを見て、自信がつくようになります。あとは、どんな文量でもいいから、長文を絶対に毎日読むこと。そうすれば、読むスピードが自然と上がります。私は解いてから、構文や品詞に分けて（精読）、そして音読をしました。音読をしても意味が頭に入ってくるようになる位になれば、力がつくと思います。2次も英訳や和訳などを先生に添削してもらった方が良いでしょう。表現のバリエーションが増えます。

数学は、4STEPをひたすら解いて、分からないところは先生に聞きに行きました。大切なのは、覚えなくて、理解しながら解くことです。新傾向のテストでそれを強く感じました。覚えて勝負できるのは、やはりセンターまでです。数学と理科は、勉強の方法を変えた方が良いでしょう。でも、他の教科は今までの勉強の仕方でも解けました。大事なのは、やはり基礎固めなんです。

最後に、先生や親に対する恩と敬意を忘れないでください。受験は無料じゃありません。皆のことを応援してない先生なんていません。どんな大学でも、受かることが最大の恩返しになるんです。そのことを忘れないで、真面目に授業を受けて、素直な姿勢を保てば、きっと行きたい大学に行けます。頑張ってください。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『4STEP』（大事な問題が全部揃っていて、基礎作りに十分）

『基礎英語長文問題精講』（良問揃いで、2次対策に役立った）

『書き込み教科書日本史B・世界史B』（単語・流れをおさえられ、漢字も覚えられる）

【合格大学・学部・学科名】

秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科
東海大学 理学部 数学科
城西大学 理学部 数学科

【国語】古典の古文単語と文法、句形を1年生の時にしっかり定着させておくと、3年生になってから国語に時間をほとんど回さなくて済むのでとても楽になります。3年生になったら数学と理科に追われて、はっきり言って国語に時間を回せません。時間のあるうちにしっかり学習しておく方が良いと思います。

【数学】数学は計算力が結局一番大切だと思います。計算力がなくて、解き方が合っても計算間違えで間違っしまいます。特に数Ⅲの積分は計算力がなくてやる気が失せる位間違えます。どの分野も4STEPのA問題の初期の計算を速く正確に解けるようになっておくことをおすすめします。

【英語】単語は毎日触れてください。自分の1日のノルマを決めて、一気にやるのではなく、さーっと目を通すだけで良いので、すきま時間にやることをお勧めします。あとは、その繰り返しです。文法も同様です。長文は3年生になるまでは毎日1長文解くと良いと思います。これだけでかなりの英語の力はつくと思います。

最後に、志望大学は早く決めて、過去問を研究して、計画を立てて勉強することをお勧めします。自分は過去問研究を怠っていたので、ただ毎日やみくもに勉強していました。それで成績が上がると思っていました。しかし、違いました。成績は全然上がらず、最終的には志望大学の受験すらできませんでした。相手（志望大学）の情報を得て、戦略的に勉強する方が時間を無駄にすることなく、圧倒的に成績向上の近道だと思います。受験勉強頑張ってください。

【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『Next Stage』（分かりやすい）

『英単語DUO』（覚えやすい）